

2007年4月17日
ベリングポイント株式会社
アルテミスインターナショナル株式会社

ベリングポイントとアルテミスインターナショナル 研究開発分野で協業

～企業の戦略的 R&D 投資を支援する「研究開発マネジメント支援サービス」を提供開始～

ビジネスコンサルティング大手のベリングポイント株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：内田士郎、以下 ベリングポイント）と、エンタープライズガバナンスソリューションを提供するアルテミスインターナショナル株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：仲村薫、以下 アルテミスインターナショナル）は、企業の研究開発への戦略的な投資実現を支援するため、相互の強みを生かした協業により、「研究開発マネジメント支援サービス」の提供を開始します。

「研究開発マネジメント支援サービス」は、企業が保有する技術や研究開発テーマを一元管理する仕組みを構築し、定期的な評価活動を業務に取り入れることで、経営トップによる適切な投資判断を可能にし、戦略的 R&D 投資を支援するサービスです。

製薬会社・食品メーカーなどのサイエンス系企業^{*1}や総合家電・精密機械メーカーなどのエンジニアリング系企業^{*2}にとって、最適な投資による“ヒット商品”の市場投入は、企業の更なる競争優位性を確保するために重要となります。また、経営上の課題でも、無駄な投資を削減し、効果的かつ効率的な投資をすることが重要視されています。本サービスは、研究開発段階での情報を可視化し、客観的な評価プロセスを導入することで、早期段階から事業戦略や市場のニーズなどを考慮し、それらに合致した研究開発を推進させるための最適で戦略的な R&D 投資の実現を支援します。

近年の成熟化した市場においては、差別化された製品を早期に開発し市場へ投入するために、その競争力の源泉となる R&D 分野の強化が求められています。そのためには、明確な R&D 戦略のもとに資源を最適化し、選択と集中を実践することが重要です。しかし多くの日本企業では、この選択と集中の実行段階において、客観的な評価基準が無いことで、経営トップによる合理的な投資判断ができず、ひいては現場においても評価結果に対する納得感が得られない、などのケースが多く見られます。

ベリングポイントとアルテミスインターナショナルが提供する「研究開発マネジメント支援サービス」は、以下に示す3つのソリューションで構成されています。

1) 評価方法の確立（ポートフォリオマネジメント導入）

企業が保有する技術、研究開発テーマを機能レベルで整理し、市場における競争優位性などの評価基準を Artemis 7^{※3} に実装します。

このシステムを導入することにより、複数の技術や研究テーマを共通の客観的かつ合理的な評価基準を用いて評価（ポートフォリオマネジメント）し、その情報を一元管理することができます。

2) 評価体制の構築

経営トップ、研究開発担当者、マーケティング担当者、営業担当者などの幅広いメンバーによる評価体制を構築することで、企業の事業戦略、市場動向の観点を含めた評価を可能にします。また、複数の関係部門で評価を実施し、結果を共有することで不公平感を排除します。その後、事業の方向性や方針策定における現場の納得感を醸成し、ポートフォリオマネジメント導入効果を最大化します。

3) 評価制度のモニタリングサイクルの構築

中期事業計画などの企業戦略と研究テーマ／開発プロジェクトなどの評価結果を比較する定期的な予実対比の補正活動を業務に取り入れることで、計画との整合性を保ち、企業ミッションや戦略、不確実な市場に対する迅速な対応を可能にします。

本協業において、アルテミスインターナショナルは、豊富な経験を基とした Artemis 7 の導入支援、および製品の運用・保守サポートのサービスを提供します。ベリングポイントは、業務改革分野における豊富なコンサルティング経験に基づいたノウハウをもとに、企業の保有技術や研究開発テーマを評価する際の基準策定、評価組織の改善支援、および投資意思決定プロセスの改善を行い、Artemis 7 の効率的な導入を実施します。

「研究開発マネジメント支援サービス」の導入期間は4ヶ月からで、初期費用は5,000万円（ライセンス料含む）からを想定しています。現在両社共同で業種別評価基準テンプレートを開発中で、完成後はさらに短期間での導入が可能になる予定です。また、ベリングポイントとアルテミスインターナショナルは今後1年間で10社への展開を目指します。

ベリングポイントとアルテミスインターナショナルは、5月23日（水）にベリングポイント社において、「研究開発マネジメント支援サービス」セミナーを開催し、今後共同で同サービスのプロモーションを実施します。

※1 サイエンス系企業

研究活動期間が他業種と比較し長く、かつ、研究テーマの成果が企業評価に及ぼす影響が非常に高い、研究活動重視型の企業をサイエンス系企業と定義しています。

※2 エンジニアリング系企業

研究活動期間が他業種と比較し短く、かつ、研究テーマの成果だけでは無く開発業務まで幅広く管理が必要なインテグレート型の企業をエンジニアリング系企業と定義しています。

※3 Artemis 7

Artemis 7 は、「トップマネジメントから現場までを統合し、ダイナミックな戦略策定と業務・プロジェクト執行の実現から、企業投資と業務・プロジェクト全体の価値最大化を実現する」、そして、「経営革新を達成する組織への第一歩を踏み出す」ためのエンタープライズガバナンス・ソリューションです。

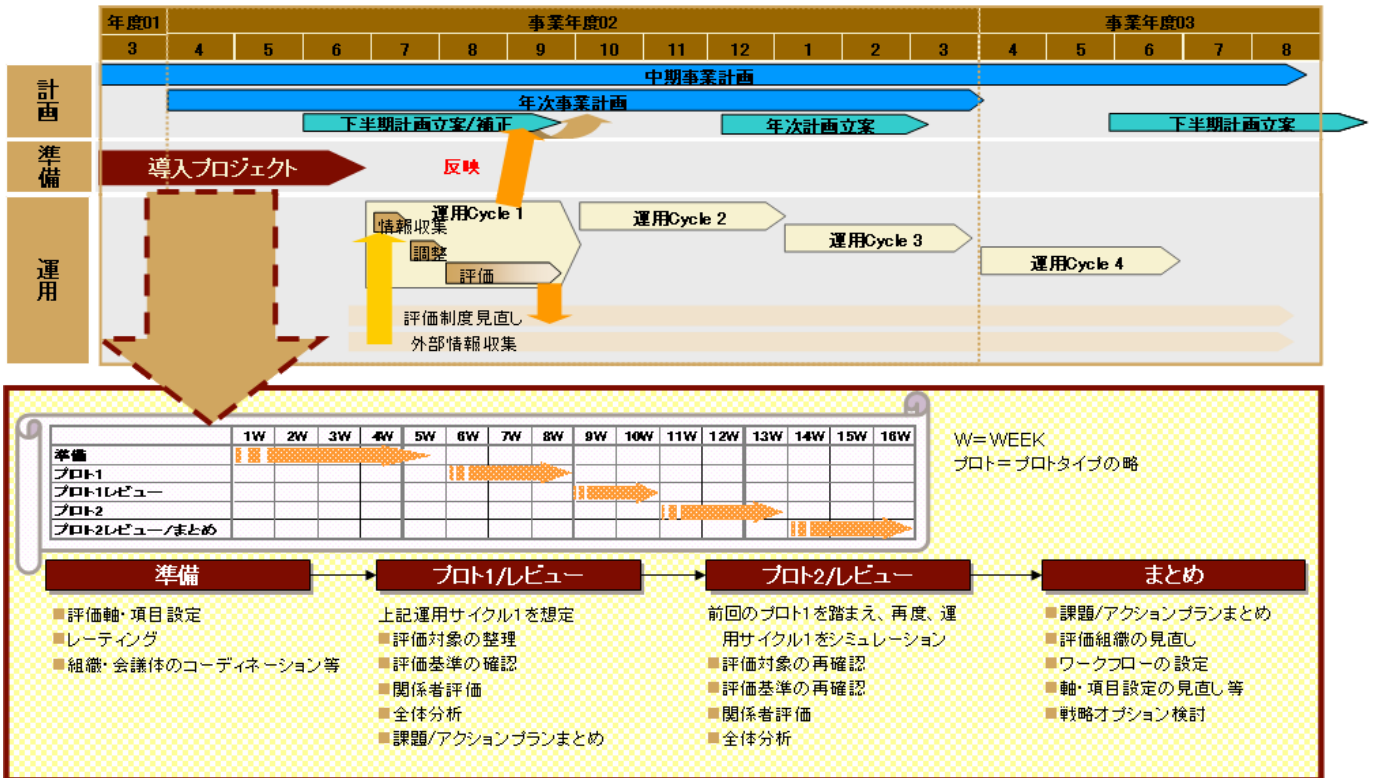
Artemis 7 は、プロジェクトポートフォリオマネジメント、および、プロジェクト&プログラムマネジメントを、トップダウン/ボトムアップいずれのアプローチでも短期間で構築することを支援します。

■ポートフォリオマネジメントによる分析イメージ例(重要度/競争カマトリクスの場合)



個々の技術/研究テーマに対する評価結果を Artemis7 に取り込むことで、ポートフォリオが表示されます。バブルの大きさは個々のテーマへの投入資源を表し、縦/横軸の2つの視点で分析した結果を表示します。縦/横の軸の視点は自由に設定が可能で、上図の場合は、横軸を重要度として定義し事業戦略と研究テーマとの関連を表しています。この分析により、企業の R&D 投資の傾向を読み取ることができ、次に打つ手として戦略オプションを策定します。

■研究開発マネジメント支援サービス導入プロジェクトアプローチ、およびモニタリングサイクル(参考例)



導入コストの早期回収を計ることを意識し、「研究開発マネジメント支援サービス」導入プロジェクトは、本番と同等の条件で計2回の業務運用シミュレーションを行う、プロトタイプ手法により進めて行きます。導入後も引き続き、年次事業計画立案時点において、事業と事業計画のすり合わせを行います。また、適宜、評価方法（評価軸やテーマの単位）や体制など評価制度の見直しを行います。

本件に関するお問い合わせ先：

プライスウォーターハウスクーパース コンサルタント株式会社（旧ベリングポイント）
マーケティング

E-mail : consultants.inquiry_mailbox@jp.pwc.com